

# 柝の木からの手紙

2016年 1月号

1月 睦 月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6日： 小寒  
10日： 新月 旧12月1日  
11日： 成人の日  
21日： 大寒  
24日： 満月 旧12月15日  
24日： 映画「普通に生きる」上映  
主催：美幌町手をつなぐ連絡協議会  
時間：開場14時 開演14時30分  
場所：町民会館 びほーる  
入場無料 整理券が必要です。

2月 1日：高齢者としょうがい者のための講演会

テーマ「高齢者と障がい者がともにたすけあえる  
まちづくりを目指して」

講師： 日置 真世 氏 (フリーソーシャルワーカー)

時間： 18時開会 場所：しゃきっとプラザ 1階

## 【 人 呼 馨 無 】

無事に一年の農作業が終わり、お陰さまで今年も農業を営む事が出来そうです。冬の間に残された農産物を販売するために、年末年始にかけて近隣のMOAセンターで宣伝を行おうと思っていましたが止めました。 たまたま行き付けの床屋さんがケガの為休業中で、去る7月の農事視察でお世話になった床屋さんに髪を切ってもらいました。この時床屋さんに掲げてあった額の文字「人呼馨無」。御主人に尋ねたところ「声無くして人を呼ぶ」という事でした。私が思っていた「宣伝」…。一時の集客で無く、長期的な集客を考えたら正に「人呼馨無」で、農産物や生産者自信の質を高めて行く事が肝心であると考えさせられました。

昨年は、会の中でも多くの行事が行われましたが、自分たちが向上するために、或は活動の幅を拡げるためには、他の団体、行政等の企画提供する行事に時間の許される範囲で無理なく参加する事も有意義な事だと思います。 ちなみに2016年1月の美幌会の行事は、1月24日に町民会館びほーるで上映される映画観賞と、2月1日にしゃきっとプラザで行われる「高齢者と障がい者のための講演会」への参加です。こんな考え方は如何ですか？

では、昨年末に参加した行事について簡単に報告します。

11月28日

場所：しゃきっとプラザ

時間：18時～20時30分

## 人・食・地方創成

### 講演 と パネルディスカッション

講師：木下 威征（たけまさ） シェフ

パネルディスカッション

司会進行：大野 秀樹（後樂園）

パネラー：木下 威征（シェフ）

土谷 耕治（美幌町長）

若林 輝彦（商工会議所 会頭）

高校中退で、いつの間にか関東一の暴走族のメンバーになっていた木下氏。補導された時、一ヶ月も家に帰らず家族の顔も見えていなかった事に初めて気が付いた。俺は何をしていたのだろうか？少年鑑別所で1ヶ月の面会謝絶の期間が解けた時、面会に来た母親の頭には10円禿が出来ていた。このとき木下氏は、母親に心配を掛けてはいけないと感じ、現在の生活から足を洗う決意をした。鑑別所の生活の中で、時折面会にやってくる鑑別所の先輩の出所者との関わりの中で料理の専門学校へ心が向かい始めました。しかし「高校卒業資格」という壁に気づき専門学校を諦めるが鑑別所の出所者に諭されて壁を乗り越え料理専門学校へ入学。卒業後フランスへ留学、フランス料理人。

夢を「追う」道には、必ず幾つもの「壁」が立ちはだかります。その時に、「逃げて」ばかりいないで、立ち止まって考えて壁を乗り越える方法を探す。「挑む」事で壁を乗り越え夢に近づく。

向上している人には、壁は立ちはだかる。 墮落している人には壁はありません。 壁が在るといふ事は、今向上している、しようとしている時だから壁が現れても諦めないで下さい。

〔 難（むずかしい）〕 災難 困難 苦難 無難 有難（ありがたい）

壁を乗り越える事は「難しい」事ですが、挑戦する事で難しさが変わってきます。だから諦めないで下さい。

パネルディスカッションでは、少子高齢化・地方消滅の危機に向かう現状の中でまちを活性化するために意見が出されました。

・観光客を取り込む為に宿泊施設等の整備。また、美幌峠へ来る観光客を如何に美幌のまちへ呼び込むか？という観点から峠下の景観豊かな場所に宿泊施設をつくる。

・現在、自動車専用道が次々に各地と繋がって来ており、下手をすると通過されるだけのまちになってしまう可能性がある。インターチェンジを如何に設定してまちに降りて貰うか？

・まちの各地に点在する魅力を線として繋ぎ平面化してまちの魅力を高めて行く。

・インターから繋がる幹線道路沿いに魅力を高めて行く。

・宣伝して知ってもらう事が肝心。

・……

インターについては時期を逃さない様にまちの魅力にアクセスし易い様に対応しなくてはならない。そして、まちの魅力を新たに創る前に、現存する魅力を見直し再生・活性させる。活動の重複する団体の住み分け・協働できる場を設けて能力の集中を計る。

12月23日

御降誕祭 映像

場所：MOA網走センター

時間：12時30分～

## 命が守られ 光り輝く 時代をめざして

医療・健康保険等の行き詰まり感の中

行政や地域活動諸団体では**統合医療を意識する**健康生活ネットワークと一体になって**健康創造型社会づくり**に向かう新たな展開を始めています。

その国内外の事例を紹介して頂きました。

### [ 介護 デイケアサービス (和歌山) ]

介護施設の中で介護福祉士の方がMOA健康生活ネットワークの協力を得て岡田式健康法を取り入れる事で入所者の健康づくりに取り組んでいます。

### [ 農業に着目したまちづくり (鹿児島県 南さつま市) ]

MOA自然農法文化事業団が南さつま市の委託を受け、加世田常潤高校提供の農場で自然農法体験学校「ありのまま分校」を開校し環境保全型農業の普及と食と農を通じたまちづくりを願い、年間13回の積み上げで自然農法を体験・学んでまちづくりに繋げて行く取組。

### [ 病院と 地域包括ケア (タイ) ]

病院の中で統合医療の一つとして岡田式浄化療法が取り入れられている現状。

### [ カトリック教会ベースのまちづくり (スペイン) ]

岡田式浄化療法は、宗教に関係無く受け入れられて健康づくり地域づくりに役立っています。

### [ 思いやりの絆を結ぶ浄化療法を広めたい (山口県萩市楞巖寺(りょうごんじ)住職) ]

MOA萩健康生活ネットワークの依頼でお茶会の会場として寺の本堂を提供した事がきっかけで岡田式健康法のひとつ、浄化療法を体験する様になりました。

今まで住職として寺を訪れる人の悩み、相談事に耳を傾け、お経を上げて一緒に祈り、心の安寧を願ってきました。心が落ち着き、癒される人もいますが、他人のために何かをする事程に変わるのはいずれです。浄化療法をさせて頂くと、誰もが人の役に立てた喜びで満たされます。

臨済宗の教えには、無心で修行に打ち込み、徳を積み、清らかな心で衆生を救い、世のために尽くす大切さが記されています。健康生活ネットワークの皆さんを見てみると、人や社会に尽くす姿が尊く、私もそうありたいと願わずにいられません。浄化療法をする事は、私にとってまさに臨済宗の教えの精神を実践するものだからこそです。

### [ 地域包括ケアシステムの構築に光明見出した思い (鳥取県 南部町 町長) ]

昨年4月の国際シンポジウム「これからの医療とまちづくり」に参加した事で、私たちが考える地域包括ケアシステムも統合医療を取り入れる事によって新しいモデルになり得るのではないかと思います。まちづくりの基本は、住民の皆さんの健康や幸せですから、スピリチュアルも意識した統合医療に一つの光明を見出した思いです。

～ 暦と気象 ～

ここ数年の傾向として、天候が何かの拍子に崩れると暫く悪く、回復するとまた暫く良くなる。また定期的に、低気圧や台風がやってくる。昨年秋には、何故か台風が2個発生してやってくる例が目につきました。そして、10月の台風23号。日本列島に上陸せずに太平洋上を勢力を保持したまま北上して来たのです。

私たちが生活場所を掃除して綺麗にする様に地球自体も掃除してもらっているのでしょうかね。

古くからの諺・俚諺の中には天気に関するものもあり今も昔も天気が暮らしに密接に関わっている事を窺わせます。今でこそ科学の発達で正確な気象情報を手にする事が出来ますが(唯物的)、俚諺は地域に根ざした古人の経験や観察・思いの積み上げを言い伝えたもの(唯心的)。

暦 と 気象 に関する俚諺の一つに次の様なものがあります。

皆さんもちょっと心に留めて今年1年の気象、古人の思いを推測してみませんか？

☆ 雨量 と 地下水

雨量 ⇒ 旧正月元日から最初の未の日までの日数でその年の雨量を予知

元日 が 未 ⇒ 1合水 旱魃

三日目が 未 ⇒ 3合水 旱魃

十日目が 未 ⇒ 1升水 大水

地下水 ⇒ 正月元日 から最初の未の日の日数

2016年	
旧正月	2月 8日
最初の未	2月19日 12日目
最初の未	1月 2日 2日目
雨量	12
_____ = _____	⇒ 大水
地下水	2

☆ 旧正月 と 立春

2016年	
旧正月	2月 8日
立春	2月 4日

立春より早い ⇒ 春が早い 秋が短い

⇒ 立春と同じ頃 ⇒ 平年並み

立春より遅い ⇒ 春遅い 秋が長い 夏短い

☆ 豊作

- ・小寒の日(1月6日) 少し雨が降る ⇒ 麦 豊作
- ・小寒の日(寒の入り) 雪降るは ⇒ 豊作
- ・寒中に雷鳴 ⇒ 豊作
- ・寒中にしばしば雨降る ⇒ 春 豊作
- ・旱魃 に 凶作なし
- ・旧暦閏年に 凶作なし (2014年は閏9月で9月が二回あり閏年)

☆ 凶作

- ・日蝕 ある年は ⇒ 凶作多い
- ・月食 ある年は ⇒ 蔓作凶作